Platio ミニアプリテンプレートガイド

栽培日誌

圃場の作目別作業履歴を記録するためのテンプレートです。

管理する圃場に対して、植え付けた作目情報と当該圃場に対して行った作業情報（実施作業、作業時間、使用肥料、使用農薬など）を記録します。収穫時に使用した肥料、農薬などを記録したExcelシートをエクスポートすることができます。

利用の流れ

① 作業者（**user1ユーザー**）はあらかじめ[圃場リスト]データポケットに圃場の情報を、[作目リスト]データポケットに作目の情報を、[資材リスト]データポケットに資材の情報を入力して保存します。作業する際に [作業記録]データポケットで圃場、作目、資材を選択し、作業情報を入力して保存します。必要に応じて、登録情報をデータビューアーでCSVまたはExcel形式でエクスポートして参照します。

データポケット

名前	種類	利用するユーザー
作業記録	主	user1
作目リスト	主	user1
圃場リスト	主	user1
資材リスト	主	user1

(c)1998-2023 Asteria Corporation

ミニアプリ概要

ユーザー/プロファイル

名前	管理者	プロファイル	プロファイルで利用できるデータポケット
user1		デフォルト	作業記録、作目リスト、圃場リスト、 資材リスト

【テンプレートの特長キーワード】

レコード選択　計算・Platio式　一覧シーンの表示フォーマット　初期値　親フィールド

◆ 作目リストデータポケット［主］

作目の情報を入力して保存します。

フィールド	型: ［プロパティ］別データポケット参照先	［プロパティ］ 同データポケット参照先
圃場名	レコード選択 選択元データポケット：圃場リスト 選択元フィールド：圃場名	
圃場ID	テキスト ［フィールド］圃場ID	［初期値］圃場名
圃場合計面積	数値 ［フィールド］合計面積	［初期値］圃場名
作目	テキスト	
作付面積	数値	
作付株数	数値	
定植日	日付	
収穫日	日付	

◆ 圃場リストデータポケット［主］

圃場の情報を入力して保存します。

フィールド	型: ［プロパティ］別データポケット参照先	［プロパティ］ 同データポケット参照先
圃場名	テキスト	
圃場ID	テキスト	
合計面積	数値	

◆ 作業記録データポケット［主］

圃場、作目、資材を選択し、作業情報を入力して保存します。

フィールド	型: ［プロパティ］別データポケット参照先	［プロパティ］ 同データポケット参照先
圃場名	レコード選択 選択元データポケット：圃場リスト 選択元フィールド：圃場名	
作目	レコード選択 選択元データポケット：作目リスト 選択元フィールド：作目	［絞り込み］圃場名
作業日	日付	
作業種別	複数テキスト選択	
その他の作業種別	テキスト	
作業詳細	複数行テキスト	
写真	画像（小）	
作業者数	数値	
1人の作業時間	数値	
合計の作業時間	数値計算	［値］作業者数、 1人の作業時間
農機の使用	スイッチ	
使用農機	テキスト選択	
資材の使用	スイッチ	
資材1	レコード選択 選択元データポケット：資材リスト 選択元フィールド：資材名	［条件付き表示］ 資材の使用
資材1の単位	テキスト ［フィールド］単位	［初期値］資材1 ［条件付き表示］ 資材の使用
資材1の単価	数値 ［フィールド］単価	［初期値］資材1 ［条件付き表示］ 資材の使用
資材1の使用量	数値	［条件付き表示］ 資材の使用
資材2	レコード選択 選択元データポケット：資材リスト 選択元フィールド：資材名	［条件付き表示］ 資材の使用
資材2の単位	テキスト ［フィールド］単位	［初期値］資材2 ［条件付き表示］ 資材の使用
資材2の単価	数値 ［フィールド］単価	［初期値］資材2 ［条件付き表示］ 資材の使用

（つづく）

レコード選択で他データポケットのフィールド参照
初期値として他データポケットのフィールド値を参照
親データポケットから子レコードのレコード選択フィールドを参照

◆ 作業記録データポケット［主］

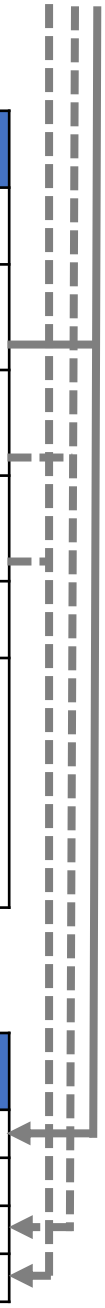
（つづき）

フィールド	型： ［プロパティ］別データポケット参照先	［プロパティ］ 同データポケット参照先
資材2の使用量	数値	［条件付き表示］ 資材の使用
資材3	レコード選択 選択元データポケット：資材リスト 選択元フィールド：資材名	［条件付き表示］ 資材の使用
資材3の単位	テキスト ［フィールド］単位	［初期値］資材3 ［条件付き表示］ 資材の使用
資材3の単価	数値 ［フィールド］単価	［初期値］資材3 ［条件付き表示］ 資材の使用
資材3の使用量	数値	［条件付き表示］ 資材の使用
合計の資材コスト	通貨計算	［値］資材1の単価、 資材1の使用量、 資材2の単価、 資材3の使用量、 資材3の単価、 資材3の使用量 ［条件付き表示］ 資材の使用

◆ 資材リストデータポケット［主］

資材の情報を入力して保存します。

フィールド	型： ［プロパティ］別データポケット参照先	［プロパティ］ 同データポケット参照先
資材名	テキスト	
分類	テキスト選択	
単位	テキスト	
単価	数値	



操作手順

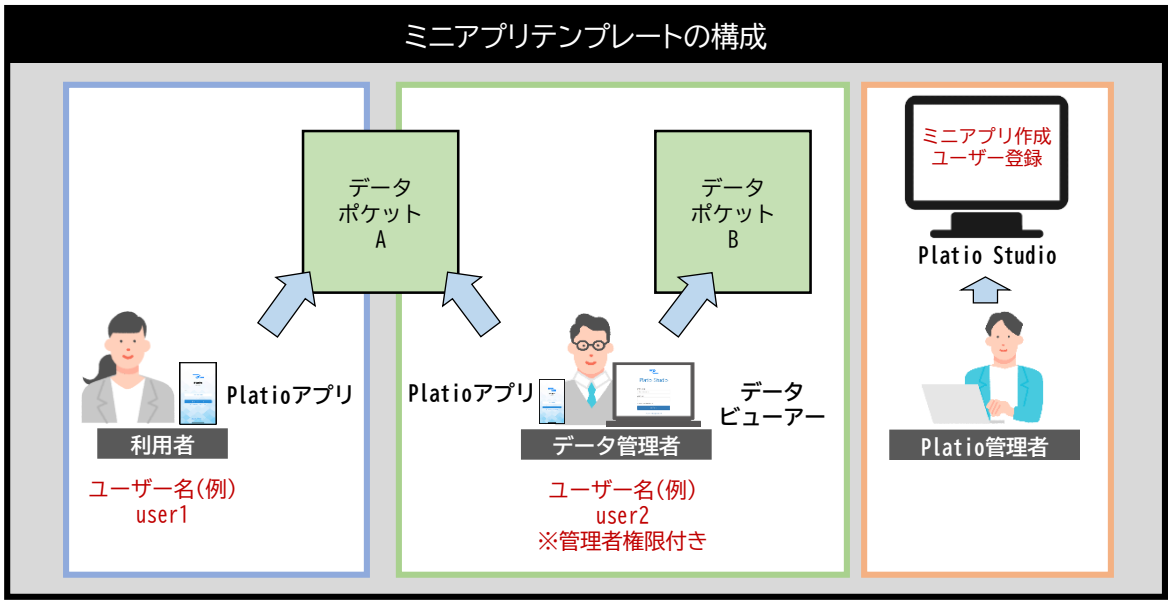
利用の流れ

① ［事前準備］ **Platio管理者**が、Platio Studioにアクセスしてミニアプリを作成してデータポケットを使用するユーザーアカウントを登録します。

② **データ管理者**は、PCのWebブラウザからデータビューアーにアクセスしてデータポケットのレコードを管理できます。

③ **利用者**は、Platioアプリからミニアプリにログインして データポケットにデータを作成・編集します。

ユーザーは、データビューアーとPlatioアプリへログインできます。（データビューアーへのログインを許可しないようにすることもできます。）



Platio Studioでミニアプリを配布

ここでは、「**勤怠連絡**」テンプレートを例にミニアプリの作成からPlatioアプリユーザーへの配布までをご説明します。
Platioの無料トライアルの申込み、利用の流れについては「スタートアップガイド」をお読みください。

Platio管理者が、**Platio Studio**でミニアプリを作成します。

Platio Studio

● Platio Studioへログイン
https://studio.plat.io/

ログイン後の画面で、右上の「ミニアプリを作成」をクリックして進めます。

※ アカウント情報はトライアル申込み時に送られてきたメールをご確認ください。

● ミニアプリを作成
ミニアプリを作成するウィザードで、ミニアプリテンプレートを選択します。

右下の「テンプレートを選択」をクリックし、表示されたミニアプリの作成画面でミニアプリの名前を任意に編集して、ミニアプリを作成します。

● サンプルのユーザーを追加
ユーザーをそのまま使う場合はユーザーの名前とパスワードをメモしておきます。
ここで作成するユーザーはサンプルとして動作確認に使います。モバイルアプリの動作確認の後、引き続き使うこともできますし、削除して新規にユーザーを追加することもできます。
ここでユーザーを追加すると、登録したメールアドレスに招待メールが届きます。届いたメールは保存しておいてください。なお、招待メールの送信を中止することはできません。

● ミニアプリの作成を完了
「完了」をクリックすると、作成したミニアプリのデータポケット一覧が表示されます。

※ ミニアプリを作成・編集して利用可能な状態にすることを”配布”といいます。

これで、ミニアプリを作成・配布し、アプリユーザーの登録が完了しました。

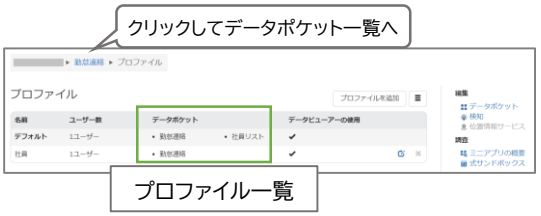
Platio Studioでミニアプリのユーザーとデータポケットを確認

● ユーザーを確認
データポケット一覧で右メニューの「ユーザー」をクリックしてユーザーを確認します。

端末のPlatioアプリへログインするユーザーの一覧です。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。

● プロファイルを確認
「プロファイル」をクリックしてプロファイルを確認します。



各プロファイルが設定されたユーザーが利用可能なデータポケットを確認できます。

左上のミニアプリ名をクリックして、データポケット一覧に戻ります。

● データポケットを確認
データポケット名をクリックして、データポケットのレコード内容（各フィールド）を確認します。

上部で、データポケットの各フィールドを確認します。

下部で、Platioアプリで表示されるシーン（画面）をプレビューでき、シーンの各種設定を行います。

以上で、ミニアプリの確認は完了です。

次は、データビューアーへログインする手順を説明します。

データビューアーへのログインを確認

データビューアーは、データポケットのレコード管理をPCのWebブラウザから行うツールです。

データビューアーへは、主に管理者のユーザーでログインします。

【Platio Studio】

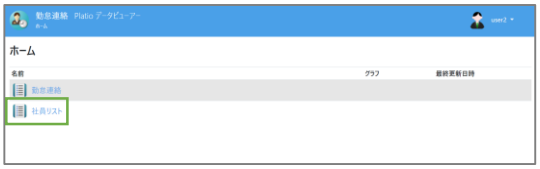
Platio Studioの「データビューアー」のリンクからミニアプリの**データビューアー**へアクセスし、ログイン画面からログインします。

PCのメールソフトで招待メールを受信して、本文のリンクからもアクセスできます。

【データビューアー】

ブラウザの新しいタブに**データビューアー**のログイン画面が表示されます。
ユーザー情報を入力してログインします。

※ Platio Studioユーザーではなく、Platioアプリのユーザーでログインします。



データポケット一覧でデータポケット名をクリックします。

データポケットのレコード一覧画面が表示されます。
右上の「作成」または「インポート」からデータを登録できます。

※ インポートではあらかじめCSVの形式でファイルから登録することができます。

「インポート」をクリックして表示されたレコードのインポート画面で、インポートできるCSVの形式が確認できます。

以上で、データビューアーの確認は完了です。

次は、Platioアプリを使う手順を説明します。

サンプルユーザーでアプリを使ってみましょう

利用する端末に**Platioアプリ**をインストールしてください。
インストールについては「スタートアップガイド」をお読みください。
https://plat.io/ja/support/guide

サンプルユーザーでPlatioアプリを使ってみましょう。
ユーザー情報はPlatio Studioのメニュー「ユーザー」で確認できます。

メール画面

ユーザーを追加したときに指定したメールアドレスに招待メールが送信されています。
届いた招待メールの本文にあるミニアプリのQRコードを**Platioアプリ**で読み取ります。

端末のPlatioアプリを起動して「QRコードをスキャン」をタップしてQRコードを読み取ります。

または、以下のように**Platio Studio**のサイドメニューのアプリリンクからもQRコードを表示できます。

メール画面　　Platioアプリ

Platioアプリと同じ端末でメールを表示した場合、ミニアプリ名のリンクをタップするとPlatioアプリが起動してミニアプリのログイン画面が表示されます。

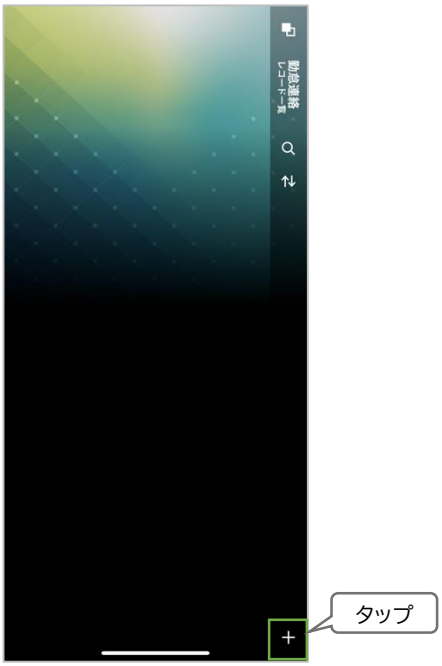
Platioアプリでミニアプリのログイン画面が表示されます。

ユーザー情報を入力してログインします。

Platioアプリ　<各種シーンと操作>

Platioアプリにログインすると、Platio Studioで指定された最初のシーンが表示されます。
表示されるシーンは、ミニアプリごとに異なりますが、入力シーンまたは一覧シーンが表示されます。

● 一覧シーン
何も表示されない場合は、登録されたレコードが無い状態です。
レコードを入力するには、右下の「＋」をタップします。



● 入力シーン
データを入力する各フィールドが表示されています。
入力したデータを保存するには、右下の「✔」をタップします。

● シーンを閉じる（前に戻る）
シーンを閉じるには、タップしながら上から下にスライドします。

● 入力をキャンセルする
シーンを閉じるには、上から下にスライドして表示された「×」をタップします。

Platioアプリ　<一覧シーンで検索・並び替え>

● 一覧から検索
検索アイコンをタップします。
検索ワードを入力するか、またはタップして表示される定義された検索条件をタップすると、検索した結果の項目が表示されます。

※ Platio Studioで検索可能と設定したフィールドが検索できます。

● 一覧を並び替え(ソート)
ソートアイコンをタップします。

並び替えできる項目が表示されます。昇順・降順のアイコンをタップすると、並び替えて表示されます。

※ Platio Studioでソート可能と設定したフィールドが検索できます。

データポケットやミニアプリの設定を変更したい

データポケットにフィールドを追加したりPlatioアプリでの見た目を変更したり、ミニアプリに機能を追加したり、ミニアプリを編集することができます。
初めてPlatioを操作するときは「**Platioスタートアップガイド**」をお読みください。

◆ **Platioスタートアップガイド**
はじめてPlatioをお使いになる方向けの、Platioの概要とPlatioを使いながら全体の流れを説明するガイドです。
[Platioヘルプセンター]の「はじめての方へ」をクリックして「①Platioって？」からご覧いただけます。
https://help.plat.io/hc/ja

◆ **ノーコードツール学習サイト「NoCode Gate」**
Platioの操作を動画で学べます。
https://nocodegate.asteria.com/

Platioに関するお問い合わせ:[お客様ログイン]からお問合せフォームにてお問合せください。
https://asteria.com/mng/login

Platioのお役立ち情報、ご利用ガイド、よくあるご質問:[Platioヘルプセンター]
https://help.plat.io/hc/ja

Platioに関する情報(事例、リリース情報など):[製品サイト]
https://plat.io